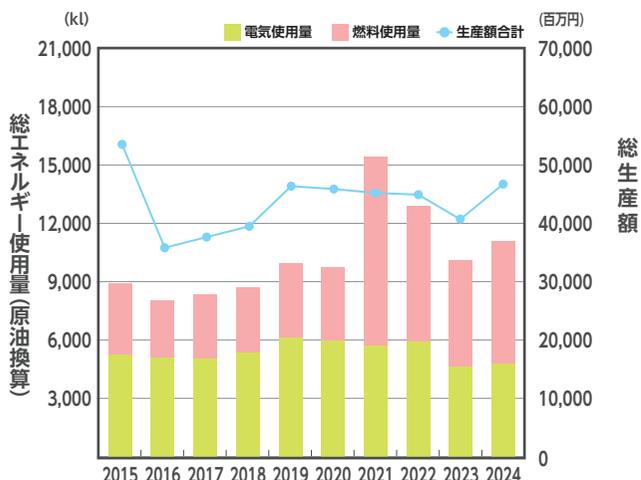


(1) 事業活動と環境のかかわりグラフ

各工場総エネルギー使用量と総生産額の対比



2024年度の各工場の総エネルギー使用量は、前年度比10.5%増加しました。ただし、IPS新潟発電所を除いた場合は、前年度比0.3%増加であり、前年度と同程度でした。

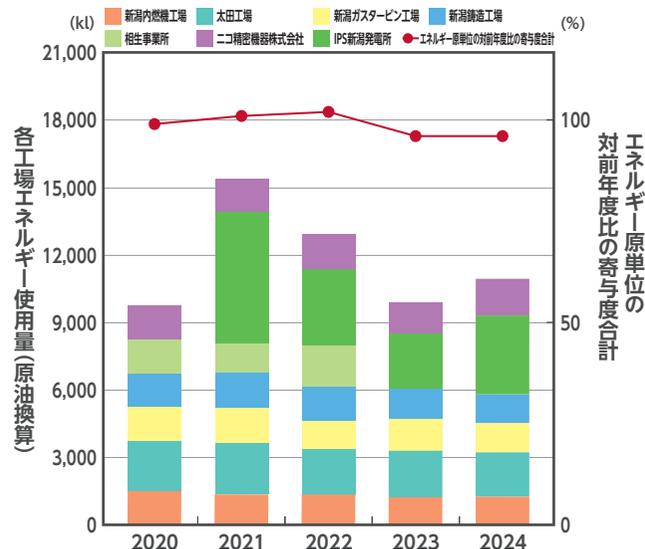
燃料使用量(原油換算)は、前年度比16.6%増加し、これは実験や特殊案件での燃料使用量増加が主要因と考えられます。一方、電気使用量(原油換算)は前年度比3.4%増加し、これは夏場・冬場の空調設備使用による電気使用量の増加などが影響したと考えられます。

二酸化炭素(CO₂)排出量は前年度と同程度で横ばいとなりましたが、総生産額当たりの総エネルギー使用量は前年度比1.6%削減、総生産額当たりの二酸化炭素(CO₂)排出量は前年度比10.9%削減と、環境負荷低減の成果が見られました。

IPSは、今後も環境負荷低減に向けた取り組みを継続してまいります。

※2021年度は、IPS新潟発電所の取得に伴いエネルギー使用量が増加しました。(2021年11月1日に株式会社新潟ニューエナジー殿より、新潟発電所の譲渡完了し、2022年10月頃より運転を開始)

各工場総エネルギー使用量とエネルギー原単位対前年度比



2024年度の各工場の総エネルギー使用量は、前年度比10.5%増加しました。一方で、エネルギー原単位の対前年度比の寄与度合計は0.1%増加となり、前年度と同程度で横ばいとなりました。

空調設備の更新やコンプレッサーのエア配管漏れ改修など、各工場で行っている省エネ対策の成果の現れと考えられます。

今後もエネルギー原単位の適正化に向けた取り組みを継続してまいります。

生産不要物発生量と生産額当たりの発生量



2024年度の一般産業廃棄物発生量は前年度比16.3%増加しましたが、産業廃棄物発生量は前年度比7.6%削減となりました。また、生産額当たりの生産不要物発生量は前年度比21.3%削減しました。

全社的なリサイクル推進の取り組みの成果や、生産額の増加が寄与していると考えられます。

今後も、引き続きリサイクル方法の検討を進めてまいります。

(2) 生産不要物の削減の取り組み

各工場の生産不要物のリサイクル目標達成に向けての2024年度の活動実績は下表の通りです。

	太田工場	新潟内燃機工場	新潟ガスタービン工場	新潟鑄造工場	ニコ精密機器株式会社
産業廃棄物 + 有価物量 (t)	1,106.9	587.3	190.5	1,315.3	568.0
再資源化量 (t)	1,065.9	545.7	157.9	1,083.4	566.4
リサイクル率 (%)	96.3%	92.9%	82.9%	82.4%	99.7%

IPS新潟発電所は、新潟内燃機工場の集計に含まれるため除外しています。

(3) 化学物質管理

各工場の取扱量1t以上のPRTR対象物質^(注1)対象物質は下表の8物質でありIPS全体としての2024年度の実績は下表の通りです。

(注1)PRTR対象物質は、PRTR(Pollutant Release and Transfer Register:化学物質排出移動量届出制度)の対象化学物質のうち、各工場部門で年間取扱量が1,000kg以上となったものを合計した値。

(単位:kg)

物質番号	CAS番号	化学物質名	取扱量	大気排出量	水域排出量	移動量
53	100-41-4	エチルベンゼン	2,283	2,283	—	—
80	1330-20-7	キシレン	4,519	3,363	—	—
87	—	クロム	35,212	—	—	8,376
300	108-88-3	トルエン	4,420	4,420	—	—
412	—	マンガン	3,595	—	—	97
438	1321-94-4	メチルナフタレン	19,122	96	—	—
667	409-21-2	炭化けい素	37,167	—	—	1,830
691	25551-13-7	トリメチルベンゼン	2,231	16	—	—

(4) 事務所における環境保全の取り組み

活動実績は下表の通りです。

		2022年度	2023年度	2024年度
総エネルギー使用量(燃料原油換算)	kl	270.3	231.2	236.2
電気	kl	205.3	168.0	172.3
燃料	kl	65.0	63.2	63.9
水使用量	m ³	4,120	4,578	4,793
二酸化炭素(CO ₂)排出量	t-CO ₂	516.9	509.0	491.7
廃棄物発生量	t	217.7	369.5	351.9

(5) 各事業所における環境目標と実績評価

【1】各工場の2024年度環境目標の達成状況

環境目標 = 前年度に対して原単位当たりエネルギー使用量の1%削減

凡例: 😊 目標達成 ☹️ 目標未達成

工場部門	太田工場	新潟内燃機工場	新潟ガスタービン工場	新潟鑄造工場	IPS新潟発電所	ニコ精密機器株式会社	全体
達成の評価	☹️	😊	😊	😊	😊	☹️	☹️
2023年度	0.3965 kl/百kW	0.9980 kl/百kW	0.5688 kl/百kW	0.5800 kl/ton	239.30 kl/百万kWh	4.33 kl/千h	対前年比 96.0%
2024年度	0.4374 kl/百kW	0.8950 kl/百kW	0.4515 kl/百kW	0.4900 kl/ton	233.30 kl/百万kWh	4.47 kl/千h	対前年比 96.1%
削減率	10.3% 増加	10.3% 削減	20.6% 削減	15.5% 削減	2.5% 削減	3.2% 増加	0.1% 増加

エネルギー使用量の算出方法について:(省エネ法 定期報告書様式第9(第17条関係) 特定-第3表 備考3による)

- エネルギー使用量は、「原油換算量(kL)」で表しています。
- 工場部門の原単位当たりのエネルギー使用量は、各工場の特性に応じて以下の基準で算出しています:
 - ・太田工場、新潟内燃機工場、新潟ガスタービン工場:生産出力(百kW)当たりのエネルギー使用量(生産出力にみなし出力・換算出力を加算)。
 - ・新潟鑄造工場:生産重量(ton)当たりのエネルギー使用量。
 - ・IPS新潟発電所:送電電力量(百万kWh)当たりのエネルギー使用量。
 - ・ニコ精密機器株式会社:機械稼働時間(千h)当たりのエネルギー使用量。
- 全体の対前年度比は、各工場のエネルギー使用に係る原単位の対前年度比を基に、寄与度の合計値で表しています。

【2】事務所部門の2024年度環境目標の達成状況

環境目標 = 電気使用量の前年度1%削減

凡例: 😊 目標達成 ☹️ 目標未達成

事務所部門	本社	北海道	東北	名古屋	焼津	大阪	九州	全体
達成の評価	☹️	😊	☹️	☹️	😊	😊	☹️	☹️
2023年度 千kWh	544.1	24.3	17.5	37.2	6.5	66.5	57.6	753.7
2024年度 千kWh	569.9	22.5	17.7	37.8	6.3	58.7	60.1	772.9
削減率	4.8% 増加	7.3% 削減	0.9% 削減	1.6% 増加	2.8% 削減	11.8% 削減	4.4% 増加	2.5% 増加

2024年4月1日付の組織改訂に伴う管理体制の変更に伴う表の変更について:

- 2024年4月の組織改訂により管理体制が見直されました。ただし、前年との比較を考慮し、焼津営業所の値を独立して表示する変更のみを行いました。
- 名古屋支店は、名古屋営業所として大阪支店管轄に変更しました。独立して記載しています。
 - 東北支店は、東北営業所として、本社管轄に変更しました。独立して記載しています。
 - 焼津営業所は、2023年度までは名古屋支店の管轄に含まれていましたが、2024年度より本社管轄に変更しました。独立して記載しています。
 - 新潟支店は、新潟営業所として本社管轄に変更しました。新潟営業所は、新潟内燃機工場の集計に含まれるため、除外しています。
 - 大阪支店は、2023年度と同様に、四国営業所の値を含んでいます。